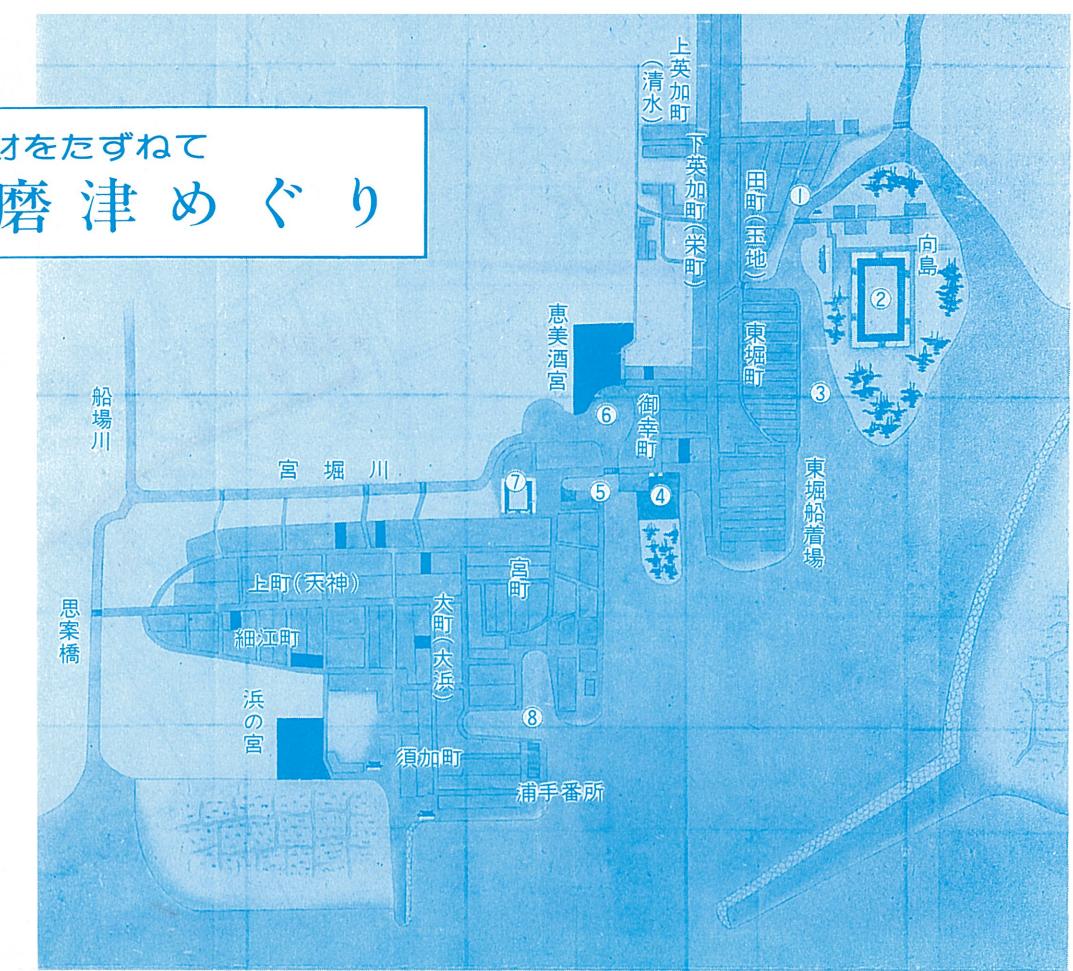


# 文化財をたずねて 飾磨津めぐり



① 向島橋  
 ② 御船役所  
 ③ 野田川  
 ④ 御茶屋  
 ⑤ 御幸橋  
 ⑥ 船だまり  
 ⑦ 御蔵  
 ⑧ 魚屋堀  
 ( )内は  
 現在の町名

●山陽電鉄飴磨駅西口から東口より徒歩、又は市営バス山電飴磨より徒歩。  
天満神社恵美酒宮（300m）—御茶屋跡碑（250m）—御藏碑（250m）—  
魚屋堀（200m）—浦手番所推定地（約1.2km）—湛保（900m）—天  
満神社浜の宮（600m）—思案橋（400m）—津田天満神社全行程は約  
五・九kmですが、コース途中姫路港・浜の宮間はバスも利用できます。

江戸時代中期の「飴磨絵図」（姫路市教育委員会蔵）に、町名などを  
追加記入したもので、江戸時代に飴磨といつたのは、須加町・細  
江町（天神）・上町（天神）・大町（大浜）・宮町・御幸町・東堀町・  
田町（玉地）・上英加町（清水）・下英加町（栄町）・都倉町の十一カ  
町でした。

※古くは飴磨津、飴間津、飴万津、鹿間津などの文字が用いられて  
いました。

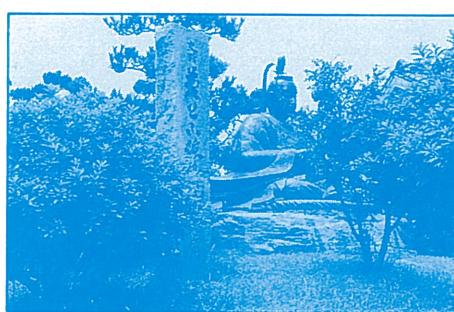
昭和62年8月31日(姫路市教育委員会 姫路市文化財保護協会 発行)

要能發揮區的中心部一帶的鋪設，並且將代替鋪設下町的外牆也一併鋪設。在地面上鋪設鋪設所必需的材料、鋪設鋪設的手續與鋪設鋪設的工程。山陽電鐵鋪設處在起點上(一)、鋪設手續的鋪設處在中點上(二)、鋪設手續的鋪設處在終點上(三)。當公私車來不及時，則在鋪設鋪設處在中點上(二)、鋪設手續的鋪設處在終點上(三)。

文化財をたずねて  
飾磨津めぐり

今在家

国道250号線



菅公舟泊の碑



旧国鉄飾磨港駅

明治28年4月営業をはじめた。  
播但線のうち姫路～飾磨港間は  
昭和61年10月廃止になった。



御台場の碑

幕末に幕命により姫路藩が大砲数門を備設した場所。砲手数名が勤務し網干沖に標的をおいて訓練したといわれています。

飾磨区

(旧)  
飾磨港線

飾磨工業高校

山電網干線

清水

バス停(山電飾磨)

駅南大路

山陽電鉄

中島

国道250号線

菅公像  
思案橋

宮堀川  
天神  
地蔵

細江

浜の宮

須加  
大浜  
宮

野  
田  
川

浦手番所跡  
同長屋跡  
魚屋堀

官営生野鉱山  
飾磨津物揚場跡

水門

御藏碑  
御茶屋碑

御幸  
東堀町会所跡  
堀  
水門

御船役所跡  
御船役所碑  
飾磨警察署

番所跡  
稻生社  
玉地

向島橋

御船役所は  
三左衛門堀を掘った土で  
埋立てて作られました。



惠美酒宮の力石



明治9年に完成した鉱山馬車道の  
飾磨物揚場跡(現、浅田化学工業)



向島橋

倉庫はフランス人シスレーの設計で、70万  
個のレンガを使用したといわれています。

昭和9年架、欄干の装飾は旧飾磨町章  
(大正8年制定)シカマの力を図案化し、  
錨(いかり)を表わしたもの。

湛保

藤田翁  
顕彰碑

御台場碑

バス停(姫路港)

フェリー発着場

姫路港

0

500m



■印は道標